

施策番号	0301		
施策名	青少年の自主的な活動の促進		
概要	青少年がみずからの生き方をデザイン（自分づくり）する能力を身につけられるよう、多様な体験の機会や世代間・異年齢間交流を促進する。また、青少年のもつ多様な感性が発揮されるよう、青少年の社会参加・社会形成活動を促進する。		
担当局・部室	文化市民局・共同参画社会推進部	共管局・部室	
上位政策	3 青少年の成長と参加		
施策に関係する 主な分野別計画等	はばたけ未来へ！京都市ユースアクションプランー第3次京都市青少年育成計画ー		

施策の評価

1 客観指標評価

指標名		26年度	27年度	28年度評価					
				前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標の ウエイト
1	青少年活動センターの事業参加者数(人)	a	a	133,691	124,069	113,108	109.7%	a	1.00
2	百井青少年村の施設利用者数(人)	a	a	10,701	9,237	7,680	120.3%	a	1.00
3	附属機関等に参画する青少年の人数(人)	a	a	123	90	154	58.4%	c	0.50
4	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	-	-	-	-	-	-	-	-	
		a	a	客観指標総合評価				a	

2 市民生活実感評価 *この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問		26年度	27年度	28年度回答					
				そう思う	どちらかと言 うとそう思う	どちらとも 言えない	どちらかと言 うとそう 思わない	そう思わ ない	有効回答 者数
1	青少年が社会体験を通して「生きる力」を伸ばせている。	c	c	16 3.3%	98 20.5%	235 49.2%	94 19.7%	35 7.3%	478
2	青少年が自分の生き方や将来像を思い描けている。	d	d	14 2.9%	77 16.0%	226 47.1%	115 24.0%	48 10.0%	480
3	青少年が社会の幅広い分野にかかわり、意見や活力が生かされている。	c	c	9 2.0%	58 12.8%	193 42.7%	132 29.2%	60 13.3%	452
4	-	-	-						
5	-	-	-						
		c	c	市民生活実感調査総合評価					c

3 総合評価(客観指標総合評価＋市民生活実感調査総合評価)

B	施策の目的がかなり達成されている						
	重み付け	☒ 客観指標	a	☐ 市民の実感	c		
(重み付けの理由) 青少年という対象者が限られた施策であり、市民の生活実態に施策の効果がすぐには反映されにくい性質があるため、客観指標総合評価を重視する。						27年度	B
(原因分析) 客観指標総合評価 ☒ b評価以上であり、施策の効果が客観指標に表れている。 ☐ c評価以下であり、次の原因が考えられる。							
(原因分析) 市民生活実感調査総合評価 ☐ b評価以上であり、施策の効果が市民の実感に表れている。 ☒ c評価以下であり、次の原因が考えられる。 ・雇用のミスマッチや非正規雇用をはじめとした若者を取り巻く様々な問題などが報道等で取り上げられることが多く、青少年がいきいきと活動する姿を実感として持ちにくいいため、c評価となったと考えられる。						26年度	B

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		28年度事務事業 評価結果における 目標達成度評価	担当局
		27年度 決算額	28年度 予算額		
1	青少年の市政参加の促進	3,989	4,047	悪い	文化市民局
2	京都市青少年活動センター	310,538	310,582	—	文化市民局
3	京都市百井青少年村	13,689	13,877	—	文化市民局
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

- ・青少年活動センターについては、引き続き青少年のニーズを踏まえた事業を展開し、事業参加者数の増加に努める。
- ・百井青少年村については、引き続き指定管理者による野外活動事業を実施するとともに積極的に広報活動を行い、利用者数の増加に努める。
- ・附属機関等の委員への青少年の登用については、附属機関等の専門性や内容を考慮したうえで、可能な限り青少年の参加を推進するよう引き続き各担当課に働き掛けを行っていく。
- ・青少年がいきいきと活動できるよう、場所や機会の提供など、これまで以上に青少年の余暇支援活動を幅広く展開していく。

施策名	0301	青少年の自主的な活動の促進				
-----	------	---------------	--	--	--	--

指標名	青少年活動センターの事業参加者数(人)					
-----	---------------------	--	--	--	--	--

担当課	勤労福祉青少年課		連絡先	2 2 2 - 3 0 8 9	
-----	----------	--	-----	-----------------	--

1 指標の説明

各青少年活動センターで実施する事業に参加する青少年の人数

2 指標の意味

青少年活動センターが提供する青少年の社会参加や自立の機会の活用状況を示す指標

3 算出方法・出典等

出典：事業担当課調べ

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	26年度	27年度		数値	根拠	達成度
数値	133,691	124,069	9,622人減	113,108	平成21年度現況値（100,518人）から過去5年間の増加数を維持するための数値（平成32年度の目標値から各年度の目標値を等差的に算出）	109.7%

	全国順位	中長期目標				備考
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値		123,600	32年度	100.4%	16年度から21年度現況値までの5年間の増加数を、21年度から32年度までの増加数として当てはめた数値	

5 評価基準

単年度目標値に対する達成度が
a：100%以上
b：95%以上100未満
c：90%以上95未満
d：85%以上90未満
e：85%未満

6 基準説明

平成32年度の目標値の達成には相当の努力を要するものの、年次ごとの目標値を上回することは不可能でないため、達成度100%以上をa、以下5%刻みで按分した。

7 評価結果

26	27	28
a	a	a

1 指標の説明

百井青少年村の利用者数

2 指標の意味

青少年の成長に欠かせない自然体験の機会の活用状況を示す指標

3 算出方法・出典等

出典：事業担当課調べ

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	26年度	27年度		数値	根拠	達成度
数値	10,701	9,237	1,464人減	7,680	平成21年度現況値(7,368人)から過去5年間の増加数を維持するための数値（平成32年度の目標値から各年度の目標値を等差的に算出）	120.3%

	全国順位	中長期目標				備考
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値		7,940	32年度	116.3%	16年度から21年度現況値までの5年間の増加数を、21年度から32年度までの増加数として当てはめた数値	

5 評価基準

単年度目標値に対する達成度が
a：100%以上
b：95%以上100未満
c：90%以上95未満
d：85%以上90未満
e：85%未満

6 基準説明

達成度100%以上をa、以下5%刻みで按分した。

7 評価結果

26	27	28
a	a	a

施策名	0301	青少年の自主的な活動の促進					
指標名	附属機関等に参画する青少年の人数（人）						
担当課	勤労福祉青少年課		連絡先	2 2 2 - 3 0 8 9			
1 指標の説明							
京都市の附属機関等に参加している13歳から30歳までの青少年の総数							
2 指標の意味			3 算出方法・出典等				
青少年の力が生かされる社会の発展に向けた、社会参加，社会形成の推進状況を示す指標			出典：事業担当課調べ				
4 数値							
	前回数値 26年度	最新数値 27年度	推移	目標値			
				数値	根拠	達成度	
数値	123	90	33人減	154	政策指標である「青少年が参画している附属機関等の割合」の27年度時点の値（11.7%）と32年度目標値（20%）を，平成27年度の当指標の実績値（90人）に当てはめて算出	58.4%	
	全国順位	中長期目標			備考		
		数値	目標年次	達成度			根拠
数値							
5 評価基準			6 基準説明		7 評価結果		
最新数値の目標値に対する達成度が a：80%以上 b：60%以上～80%未満 c：40%以上～60%未満 d：20%以上～40%未満 e：20%未満			当該指標については，附属機関等の数に影響されるため，80%以上をa，以下20%刻みで基準を設定した。		262728 a a c		